

になるに附添を離さない人も無くなり、先生の袖にばかり
縋つてゐた人も二三人の人さからかひ遊ぶ様になり、その
他の人達は幼稚園をわがもの顔に楽しむ様になつて來た。
折角馴れた所で長のお休みになるのも惜しい氣持にもなる
けれど、このお休みを各自それ／＼の二ヶ月を過して又會

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 一回

汽車ポッポ(新作唱歌遊戯)

この曲は「汽車ポッポ」の感じをよく表はしてゐる。前奏
を聞いてゐる間に、子供たちはすつかりリズムに乗つて
しまふ。何かじつじつしてはゐられない氣持にかられて、
シユッ シユッ シユッ シユッ ミカシユッ シユッ
ポッポ……ミカくちずさんで汽車の氣分を出してゐ
る。すぐに覺えられる。輕快に歌ふこと。

遊戯 二回

ふ九月の日の、みんなの成育の多いのに腫をみはる日の樂
しみも思ひやられて又別の樂しみを持つて別れを惜しむ。
明日は、終業式のあきで、改めてまたお休み中の諸注意
等を親に代つてして諷別の言葉こする。

汽車ポッポ(記事参照)

あのポッポ／＼／＼ミ煙をはいて勇ましく馳けて行く
汽車ポッポの氣持を出して、愉快に元氣よくしたい。前
奏の時の動作は大きくする様に。トンネルをくゞつて行
く所がやはり一番うれしさうだ。慣れて來るミ、つい急
いでくゞりたくなつて、曲に合はさないで前の人を押し
てごちや／＼に馳け出す様な子供も出て來るから、注意
が必要である。

かたつむり(記事参照)

かたつむりミ云へば子供は何を先づ想像するか知ら？あ

かたつむり



の脊中にしよつた殻、ニユッミ突出したつの、そうしてのろくミ這ひ出して行く様子を思ひ浮かべる事だらう。其等を表現して行く所に興味もあり愉快を感じる。

第十四週

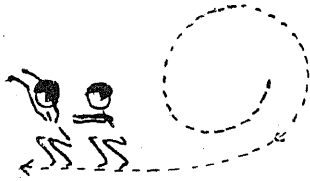
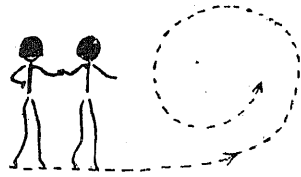
別に唱歌ミか遊戯だけミしての時間をまらなかつた。誘導保育案の計画ミして「お話し唱歌の會」を催すが、其中に個人的に唱歌や遊戯の發表の機會を作る。子供たちの夫々に好むものをして、共に楽しいひとときを過したい。

かたつむり 戸倉ハル氏振付

準備 十五人位づゝ一組を作る。

第一小節より第二十三小節まで(四十

六呼間)



一組の者が手をつなぎ、一番先の者が先頭となり渦巻の様な形に行進する。先頭は曲一ぱいに渦が巻ける様注意し乍ら進む。

第二十四小節(二呼間)——この二呼間を音を強くするこよい——

全部踞むで廻れ右をする、即ち一番後だった者が先頭になる。この先頭の者は、両手を握つて上へのばし、かたつむりの角の様にし、他の子供は前の者の肩に両手をのせ全部踞むだまゝ歩いて行く、先頭は真直に出て渦巻を解いて行く。

文部省唱歌「かたつむり」を何回もくりかへし、うたひ乍らするこよい。この曲はどんな曲でもマーチの四拍子のものゝ類ならばよい。

汽車ポッポ 戸倉ヘル氏振付
新作唱歌遊戯

準備 圓形を作り内方を向く。

前奏

両手を五指を開いて掌で車を作り、肘を曲げ體の側面にもつて行き、この車を肘から先を大きく下から上に一廻轉すると同時に兩脚の膝を曲げ、のばす。この動作を四回行ふ。

キシヤキシヤハイナキシヤポッポ

車を動かし乍ら圓周に沿つて行進する。

キテキヲナラシイサマシク

車を動かす乍ら自分のまはりを大きく一周りする。

ケムリヲハイテカケテユク

皆圓の中心を向き、手だけの動作を行ふ。両手の先が肩の高さに来る様にあげる、肘を曲げて肩から肘までは體につける様にして。掌は前を向けて握つたり開いたりし乍ら手を次第に上にのばして行く、そして最後には、すつかり上に手をのばす様になる。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

手を下におろし、圓周に沿つてスキップで行く。

間奏

前奏に同じ。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

一番と同じ。

トンネルヌケテノヲスギテ

圓周上の適當な場所に二つ三つ、二人兩手をこつてトンネルを作り、皆圓周に沿つてトンネルを通り車を動かす乍ら進む。

ハシヲワタツテカケテユク

トンネルの者はそのまゝで、他は五、六人づゝ、一列車を作り、先頭は手の車を動かす、他は兩手を前の者の肩にかけて、こきざみに走つて行く、一つの圓に數列車出来るわけである。

キシヤキシヤハヤイナキシヤポツポ

トンネルの者はトンネルをやめ圓周に加はり、皆スキップで圓周に沿つて行く。